

特集

ここで紹介しているものは、今年度、教育委員会が特に力を入れて取り組む事業です。



川崎の教育の将来にわたる方向性を明らかにします

人権尊重教育の推進や、川崎の豊かな資源を生かした事業など、川崎らしい教育施策を進めます

子ども達の「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」を向上させ、生きる力を育みます

市民の生活と学びを、より豊かなものにします

地域の方々の力を生かしながら、教育サービスの質の向上を図ります

子どもや大人が学び、活動する、よりよい教育環境を整えます

平成16年度、川崎は様々な事業に取り組みながら、教育改革を進めていきます。

川崎の教育の将来にわたる方向性を明らかにします

●かわさき教育プランを策定し、今後10年にわたって、地域住民、保護者、教職員、教育委員会が一緒に育んでいきたいかを明らかにしていきます。

人権尊重教育の推進や、川崎の豊かな資源を生かした事業など、川崎らしい教育施策を進めます

●子ども会議を開催し、子どもの意見を尊重していきます。
●人権意識を高めるために、子どもの権利やさまざまな権について学習を展開します。
●「子どもによる音楽のまち・かわさきの歌」づくりや、子どものためのオーケストラ鑑賞など、子どもたちの素晴しさを伝える事業を展開します。
●子どもから大人まで、読書の楽しさを広め、「読書のまち・かわさき」らしい事業を展開します。



「読書のまち・かわさき」権威事業

●市民球団「川崎フロンターレ」を、市民と一丸となって応援します。
●橘樹郡衙推定地（奈良時代の役所跡）の発掘調査の成果を報告書にまとめます。
●多摩川でマラソン大会やカヌー教室を開催して、多摩川の魅力を全国にPRします。

市民の生活と学びを、より豊かなものにします

●子育て広場の運営や、私立幼稚園保育料の補助などにより、子育てを応援します。
●学校が、地域みんなの学びと活動の場となるように、学校の複合化や有効活用を進めます。
●世界一の星空を映し出すプラネタリウム「メガスターII」を、青少年科学館で、年間を通じて上映します。
●総合型地域スポーツクラブの育成を推進します。

子ども達の「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」を向上させ、生きる力を育みます

●各学校が創意工夫を凝らして、より良い学校づくりに励みます。
●小学校での外国語会話などの学習を推進します。
●市立小学校へのコンピューター整備を進め、情報教育を推進します。
●子どもの理科離れを防ぐための体験教材を開発します。
●市立高校をより魅力あふれるものにしていきます。
●子ども達の心の悩みを軽減するための、スクールカウンセラー等の配置を充実させていきます。
●小学校と中学校が連携して、不登校をなくすための研究を行います。
●中学校ランチサービスを全校で実施します。

子どもや大人が学び、活動する、よりよい教育環境を整えます

●教育施設の耐震補強を進めます。
●生徒数が多い学校と少ない学校について、今後どうしたらいいのか、地元の方と検討します。
●教員の指導力の向上・改善を図ります。
●宮前区にスポーツセンターを建設します。

地域の方々の力を生かしながら、教育サービスの質の向上を図ります

●地域の方々が学校の授業をサポートする教育ボランティアを推進します。
●小学校給食の調理業務を民間会社に委託します。
●図書館の業務の一部を民間会社に委託します。
●市民が企画して運営する講座や事業を応援します。

かわさき教育プラン中間報告～市民の力が教育を変える～

情報化、少子高齢化、地方分権の推進など、様々な社会の変化があり、教育へも影響を与えています。そして、そうした変化を受けて文部科学省や川崎市全体が現在取り組んでいることや、川崎市の教育の現在の状況と課題を考えた上で、「かわさき教育プラン」の目標を決めました。

かわさき教育プランにおける基本的な目標

☆多様化する価値観のなかで、子どもと大人がともに生き、一人一人が生き生きと輝く学習社会を創造する
☆地域の学習のネットワーク化を支援し、地域教育力の向上へつなげる

かわさき教育プラン策定委員会では、教育行政専門部会、学校教育専門部会、社会教育専門部会において、基本的な目標を達成するためにはどのようなことを行っていけばよいか話し合ってきました。そこで議論された様々な施策を体系として整理し、そこから重点的な施策を抽出しました。

施策体系

幼児教育・学校教育 家庭・地域における子どもの教育 社会教育 教育行政

抽出

重点施策

「生きる力」をつける
いのち・こころの教育の推進、確かな学力向上プログラムの設定（習熟度別授業、少人数指導、ティームティーチング）、安心して子育てができるともに育ち合う地域づくり など

「教職員の力」を伸ばす
研修カリキュラムの再編、人事評価の見直し、総合教育センター機能の強化 など

「自ら学ぶ市民」を応援する
学校施設の有効活用、総合型地域スポーツクラブの育成、社会的自立に向けた支援 など

「個性が輝く学校」をつくる
学校の裁量権の拡大、学校評価制度の導入、外部人材の活用 など

「市民の力」を活かす
学校教育推進会議・地域教育会議の活性化、拡大教育委員会設置の検討

かわさき教育プラン中間報告の内容は、ホームページでも公開しています。ご意見をお寄せ下さい。

●かわさき教育プランホームページ
<http://www.city.kawasaki.jp/88/88kikaku/home/plan/index/index.htm>

●ご意見お寄せ先
教育委員会総務部企画課 ☎044-200-3244 図044-200-3950
E-mail:88kikaku@city.kawasaki.jp
〒210-0004 川崎市宮前町6番地
明治安田生命川崎ビル3F

